

造影検査 説明書

造影 MRI 検査を受けられる方へ

●検査説明

今回実施するMRI検査は造影剤という薬を注射して行う予定です。血管内に造影剤を投与して臓器や病変部をわかりやすくすることによって、あなたの病気の状態をより正確に評価し、今後の治療に役立まてます。造影剤を使用しなくても検査はできますが、より正確な診断を行うためには多くの場合造影剤が必要です。また、場合によっては経口用の造影剤をお飲みいただく場合もあります。

●造影剤を使用するにあたり

造影剤は副作用の少ないものが開発され安全な薬ですが、まれに副作用が起こることがあります。以下の既往がある方は造影剤の副作用が生じる頻度が比較的高く、症状が強く出る場合もあり造影検査を使わないことがありますので、必ず「MR 造影検査 問診票・同意書」の記入をお願いします。

- *今までに造影剤によって具合が悪くなったことがある方
- *気管支喘息などのアレルギー歴のある方
- *他の薬剤過敏症やじん麻疹などのアレルギー歴のある方
- *重篤な腎障害のある方

●主な副作用について

副作用の種類は次のようなものです。

*軽い副作用

吐き気、かゆみ、くしゃみ、咳、咽喉頭(のど)違和感、動悸、頭痛、発疹などです。これらは治療を要さないか、1、2回の投薬や注射で回復します。このような副作用の起こる確率は約1～2%です。

*重い副作用

呼吸困難、ぜんそく発作、ショック、けいれん、意識障害、血圧低下、腎不全などです。このような副作用は、入院の上での治療が必要で、場合によっては後遺症が残る可能性があり、その確率は約1万9千人に1人です。病状・体質によっては様々な処置を行っても死亡することがあり、その確率は約83万人に1人であるという報告があります。

*造影剤注入時

造影剤を注入する際、まれに血管外に造影剤が漏れる場合があります。この場合、注射部位が腫れて痛みを伴うことがあります。基本的には時間が経てば吸収されますので心配ありません。

当院では造影検査中、常に患者の状態を観察しており何か異常が現れた場合には直ちに投与を中止し、医師、看護師が適切な処置をいたします。もし、異常だと感じたらすぐにお伝えください。

その他、検査について不明な点がございましたらお気軽にご相談ください。

受付時間：月～金(8:30～17:15)、土曜日(8:30～12:30)

〒710-0826 倉敷市老松町4丁目3-38

社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 ☎086-427-1111

放射線部受付(直通) ☎086-427-1194